

デジタル掛時計 (カレンダー / 温度湿度計) 取扱説明書

JB-110-z-2206

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25°C で使用した場合)
- 使用温度範囲: 0 ~ +40°C ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池: 時計用: 単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 1個
カレンダー表示用: 単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 1個
温度湿度計表示用: 単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 1個
- 電池寿命: 時計用: 約 12 ヶ月 (単3形アルカリ乾電池 1個使用の場合)
カレンダー表示用: 約 12 ヶ月
(単3形アルカリ乾電池 1個使用の場合)
温度湿度計表示用: 約 12 ヶ月
(単3形アルカリ乾電池 1個使用の場合)
- カレンダー: 2000年1月1日 ~ 2099年12月31日
- 温度計: 表示範囲 -19.9 ~ +50°C
※ -19.9°Cより低いと [Lo]、+50°Cより高いと [Hi] を表示
精度 ±1°C (+10 ~ +35°Cの間)
±2°C (上記以外)
- 温度変化矢印表示: 表示範囲 10 ~ 95%RH
※ 10%RHより低いと [Lo]、95%RHより高いと [Hi]
を表示
精度 ±5%RH (温度 25°Cで、30 ~ 80%RHの間)
±10%RH (上記以外)

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる
ことがあります。
- 0 ~ +40°Cの温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる
ことがあります。

<温度・湿度 表示例>

Hi表示 +50°Cより高い 95%RHより高い		高い ↑ ↓ 低い
通常表示 +29.1°C 61%RH		
通常表示 -8°C 25%RH		
Lo表示 -19.9°Cより低い 10%RHより低い		

※ -19.9°Cより低いとLo、+50°Cより高いとHiを表示
※ 10%RHより低いとLo、95%RHより高いとHiを表示

温度湿度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたもの
ではありません。温度湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されて
いるため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、温度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、注意して下さい。

電池の交換について

- 時計用電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなります。
このような場合は、速やかに新しい電池に交換して下さい。
- 温度湿度計表示用電池容量・カレンダー表示用電池容量が少なくなると
液晶表示が薄くなったり、見えにくくなる場合があります。
このような場合は、速やかに新しい電池に交換して下さい。
- ※ 買い置き電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」
や保管状態により、電池寿命が短くなる場合があります。
- ※ 時計が動いていても、製品仕様欄に記載の電池寿命を目安に、定期的
に電池を交換して下さい。

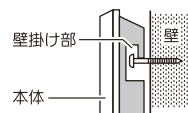
時計の掛け方について



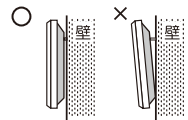
注意

掛け方が不適切な場合、
落下する危険があります。

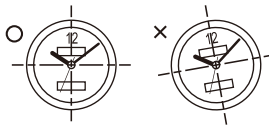
- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、
確実に掛かっていることを確認して下さい。
 - 時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能
が正常に働きません。
 - ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
 - 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けしないで下さい。
 - 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を
傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を
確認し、取り付けて下さい。
 - 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選ん
で下さい。
- ※材質・構造がご不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



<正しい掛け方>



<横から見た場合>



<正面から見た場合>



故障かな?と思ったときには...

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考にお
確かめ下さい。

時計が動かない

考えられる原因	処置
電池容量が無い 電池が入っていない 電池が正しい向きで入 っていない	電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入 れて下さい。
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。

時計が止まる、または遅れる

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。

液晶表示が点かない

考えられる原因	処置
電池容量が少ない 電池が正しい向きで入 っていない 電池容量が無い	電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入 れて下さい。

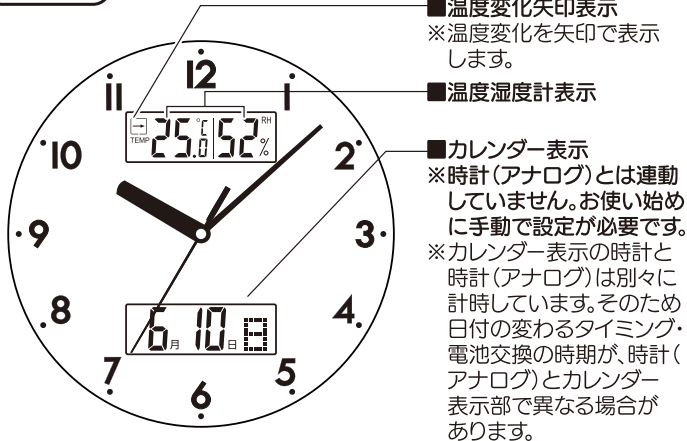
カレンダーの曜日が合わない

考えられる原因	処置
カレンダーの [西暦・月・日]が正しく 設定されていない	本書 カレンダーの合わせ方 を参照し、 [西暦・月・日]を正しく設定して下さい。

カレンダーの日付が正しい時刻に変わらない

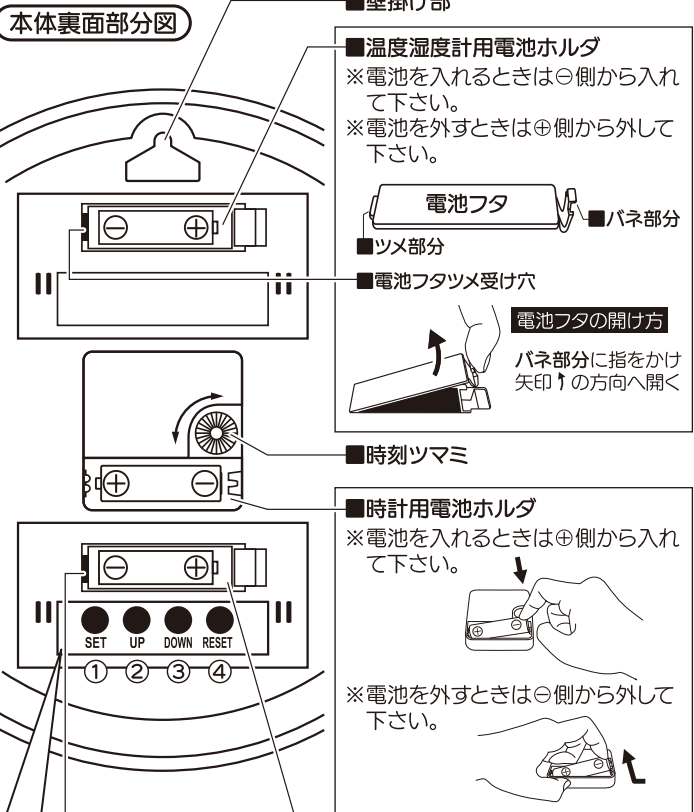
考えられる原因	処置
カレンダーの [時・分]が正しく 設定されていない	本書 カレンダーの合わせ方 を参照し、 [時・分]を正しく設定して下さい。 ※時刻設定は24時間制です

本体正面



- 温度変化矢印表示
※温度変化を矢印で表示します。
- 温度湿度計表示
- カレンダー表示
※時計(アナログ)とは連動していません。お使い始めに手動で設定が必要です。
※カレンダー表示の時計と時計(アナログ)は別々に計時しています。そのため日付の変わるタイミング・電池交換の時期が、時計(アナログ)とカレンダー表示部で異なる場合があります。

本体裏面部分図



- 壁掛け部
- 温度湿度計用電池ホルダ
※電池を入れるときは⊖側から入れて下さい。
※電池を外すときは⊕側から外して下さい。
- 時刻ツマミ
- 時計用電池ホルダ
※電池を入れるときは⊖側から入れて下さい。
※電池を外すときは⊖側から外して下さい。
- カレンダー用電池ホルダ
※電池を入れるときは⊖側から入れて下さい。
※電池を外すときは⊕側から外して下さい。

- SETボタン
設定操作の際に使用します。
- UPボタン
設定操作の際、1回押すごとに加算します。
- DOWNボタン
設定操作の際、1回押すごとに減算します。
- RESETボタン
設定をリセットするときに使用します。

注意

時計(アナログ)とは連動していません。
お使い始めに手動で[西暦・月・日・時・分]の設定が必要です。
設定中の点滅は約30秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了し、通常表示に戻ります。

- 表示ラベルを剥がす。
- カレンダー用電池ホルダの電池フタを開けて、単3形乾電池1個を⊕⊖の表示に合わせて入れ、ツメ部分を受け穴に差し込み電池フタを閉じる。カレンダー表示が点灯します。
- SETボタンを1回押すと設定モードに入り、[西暦]が点滅します。
- UPボタン/DOWNボタンを押して西暦を設定する。
- SETボタンを押すごとに[西暦]→[月]→[日]→[時]→[分]が点滅します。
UPボタン/DOWNボタンを押してそれぞれを設定する。
※[西暦・月・日]を合わせないと[曜日]は正しく表示されません。
- [分]の設定が終了したらSETボタンを押す。
点滅が終了し、カレンダー設定が完了します。

※[時][分]設定時にUPボタン/DOWNボタンを押すごとに秒は00秒に設定されます。
※電池を挿入した後に表示がおかしい場合や、設定時に操作が分からなくなった場合は、RESETボタンを押して下さい。
※UPボタン/DOWNボタンは、長押しすると早送りします。
※時刻設定は24時間制です。

カレンダー設定時の注意

カレンダーの日付が変わる時刻に影響しますので必ずカレンダーの時刻[時]・[分]を設定して下さい。

温度湿度計の使い方

- 表示ラベルを剥がす。



- 温度湿度計用電池ホルダの電池フタを開けて、単3形乾電池1個を⊕⊖の表示に合わせて入れ、ツメ部分を受け穴に差し込み電池フタを閉じる。温度湿度計表示が点灯します。

温度変化矢印表示について

温度の変化を矢印で表示します。数値は30秒ごとに更新され、1℃以上の変化があれば、“↗”もしくは“↘”のいずれかを表示し、1℃未満であれば、“→”を表示します。

時計(アナログ)の使い方

- 単3形乾電池1個を時計用電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れる。
※電池を入れる際は、必ず電池ホルダに表示されている⊕⊖の向きをご確認下さい。
- 時刻ツマミを回して現在時刻に合わせる。

